

## 経営者に学ぶ 学生インタビュー

広島女学院大学 × 広島経済レポート [共同プロジェクト]

### 地域に根ざした 総合建設企業 常に考えながら 行動する組織へ



04 interview

シンクコンサルタント株式会社  
代表取締役 正路 盛也

#### プロフィール

1988年8月25日生まれ、三原市出身。関西大学総合情報学部卒。ホームページ制作やアプリ開発などのIT系企業と大手会計事務所を経て、2016年に帰広。21年12月にグループの社長に就任。

#### 会社概要

本社：東広島市高屋町檜山476-2  
設立：2000年  
資本金：1500万円

学生が地元経営者をインタビューすることで、地域で輝く企業に目を向け、思考を深め、広島での就職意識を高めてもらうプロジェクト。  
第4回は、総合建設業など5社からなるシンクグループの正路盛也社長。まちづくりを共通テーマに掲げて地域に根ざした事業を展開する。グループの特徴や正路社長の学生時代、今後の目標などについて聞いた。

ーグループの特徴は。

中核のシンクコンストラクションは1955年の創業以来、道路・橋梁・河川などの土木工事、幼稚園から大学までの教育機関や福祉施設、耐震の建築工事など、多彩な公共・民間工事を手掛けています。現場を取りまとめる監督業がメインで、複数の事業者と協力しながら仕事する建築・土木のプロ集団です。力仕事をイメージする方も多いかもしれませんが、レーザースキャナーやドローンなど最新のICT技術を積極的に活用しています。

建設工事業のシンクファームは96年に設立。残土・砕石の再生や、調整池の整備、伐採植林活動などを通じて生態系を守る「自然の環境づく

り」に取り組んでいます。2000年設立のシンクコンサルタントは、建設に関する情報をデータ分析して適応するソリューションを提供。アウトソーシング業務を主軸に当グループの連携強化を担う会社です。

18年の西日本豪雨災害発生の翌年には、警備業のシンクアイを立ち上げて新たな領域に参入。災害復旧や緊急時だけでなく、工事現場の見守りや、イベント運営の警備など事業を拡大しています。

また、地産地消のつくだ煮やコメなどを販売するシンクフーズを運営。まちづくりをグループ共通のテーマに掲げ、長年培った技術や経験、地域とのつながりを生かした事業を展開しています。

ーブランディング戦略について。  
以前はニッカングループという名前で活動しており、複数の会社が入っていた。一体感がなく、外から見ても中からもそれぞれの会社は何をやっているのかピンとこない状態でした。

グループ企業としての強みを最大限に発揮してもらうために、大学時代にCI（コーポレートアイデンティティ）に関する提案書を作成して父（現会長）に提出。私の意見に賛同してくれ、会社の価値観や思いをしっかりと言語化していくための活動がスタートしました。面識のあった「ナショナル坊や」のデザイナーの岩永泉さんにプロジェクトに加わってもらい、シンクグループという名前と現在のロゴが完成。シンクには考えろという意味があり、普段の業務や作業、今後のこと、何でも良いから常に疑問を持って考えながら活動する組織にしたいという思いを込めました。地元での認知度も高まってきており、会社は知らなくてもロゴは見たことがあるという人も

